

エコマークと持続可能な開発目標（SDGs） 【エコマーク認定事業者向けの SDGs 活用ガイド】



2019年9月

公益財団法人日本環境協会
エコマーク事務局

1. SDGs とは

- 国連サミットで採択された **2030 年までの国際社会共通の目標**です。
- 持続可能な世界を実現するために **17 の目標・169 のターゲット**から構成されています。
- 地球上の「**誰ひとり取り残さない**」ことを基本理念として、先進国と途上国のあらゆる人や組織(国、地方公共団体、企業、NGO など)が、一丸となって達成すべき目標です。
- SDGsの目標には、環境面・経済面・社会面の主要な課題が含まれており、多くの目標は**環境課題に密接につながっています**。
- 17 の目標を表した**以下のアイコン**は、誰もが自らの取組に応じて使用できます。



⇒ 外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

2. SDGs がなぜ注目されているのか

- これまで CSR の一環であった「環境・社会・ガバナンス」が、いまや重要な経営戦略と位置付けられるようになり、SDGsへの取組はビジネスにとって不可欠となっています。
- テレビや新聞などでも SDGsが取り上げられる機会が増え、**上場企業では 100%に近い認知度**となっています(年金積立金管理運用独立行政法人の調査)。
- 企業が SDGs に取組むメリットは、**新たな事業機会の創出、企業価値の向上、優れた人材の確保、またはリスク回避**などがあげられています(取引先などからも SDGs への対応が求められる時代になりつつあります)。

⇒ 「SDGs活用ガイド」(環境省) <http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>

3. SDGsの活用の仕方

【基礎編】

1) まず、自社の強みを整理し、SDGsの目標と照らし合わせます。

本業とSDGsとを結びつけて戦略を立て、自社の強みにすることが重要です。

具体的には

自社の事業戦略(方針・計画など)または商品(製品・サービス)が、SDGsのどの目標と結び付いているかを特定します。

⇒ エコマーク認定商品・サービスがあれば、SDGsの目標との関連を客観的に示すことができます。各商品分野とSDGsの目標との結び付きは、代表的なものを表1に示していますので、参考として下さい。

目標	エコマークの認定基準との関連	目標	エコマークの認定基準との関連
 3 すべての人に健康と福祉を	• 人体に影響を及ぼす可能性のある有害化学物質(発がん性物質、重金属等)の不使用や使用を管理する。[3.9] • 敷地内または室内禁煙を推進する。[3.a] • 自動車保険を通じて交通事故削減の取組みを行う。[3.6]	 11 住み続けられるまちづくりを	• 持続可能な交通システム(カーシェアリングなど)を提供する。[11.2] • 環境に配慮した観光(文化遺産・自然遺産の保護・保全)を促進する。[11.4] • VOC削減のなど大気質の改善や、リサイクルシステムの構築に取り組む。[11.6] • 緑地の提供や維持に取り組む。[11.7]
 6 安全な水とトイレを世界中に	• 家庭で水切りネットや浄化性能の高い浄化槽の設置する。製造工場の排水に有害な化学物質を少なくするように取り組む。[6.3] • 節水機器の製造・販売、雨水利用など、水を効率的に利用する。[6.4]	 12 つくる責任 つかう責任	• 環境に配慮した製品・サービスの開発・生産・利用を進める。[12.1] • 店舗や宿泊施設での食品廃棄物の発生量を減少させる。[12.3] • 製品ライフサイクルを通じて、化学物質や廃棄物の管理を実施し、大気、水、土壌への放出を削減する。[12.4] • 再生材料を使用した製品の製造・販売、回収・リサイクルシステムの構築を通じて、廃棄物発生を削減する。[12.5]
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	• 再生可能エネルギーの使用割合を増やす。[7.2] • 機器や施設の省エネルギー化やエネルギー効率の改善を進める。[7.3]	 13 気候変動に具体的な対策を	• CO₂排出量の削減や代替フロン削減を進める。[13.2]
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	• 資源利用効率の向上と環境に配慮した技術の導入拡大に取り組む。[9.4]	 15 陸の豊かさも守ろう	• 森林の持続可能な経営の促進や森林減少の防止に取り組む。[15.1、15.2] • 食肉の副産物である革材料の利用を推進する。[15.7]

2) 1)で整理した内容を公表します。

これからの時代は、SDGsへの貢献を自主的に開示する企業が社会から評価されます。

具体的には

自社の取組内容をウェブサイトや環境報告書などで、**エコマーク**とともに、**SDGs のロゴ**を表示して公開します。

① 各目標のアイコンのダウンロード、使い方

自社の取組を社外に伝える目的で SDGs のロゴおよび各目標のアイコンを使用する場合には、国連への申請は不要です。(非営利目的の使用に限る)

SDGs のロゴおよびアイコンは、以下 URL からダウンロードが可能です。(無料)

また、使用方法のガイドが公開されています。

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

② 表示例

ウェブサイトや環境報告書などで、SDGs との関連を示す場合、目標のアイコンを単体で表示するのではなく、自社の取組との関連を示すことが重要です。

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(1)

●×株式会社は、環境負荷への負荷が少ない製品を開発・製造し、SDGs 達成のために取り組んでいます



PET ボトルや古紙など再生材料の活用を進めています。

**12 つくる責任
つかう責任**

**6 安全な水とトイレ
を世界中に**

規制物質(発がん性物質・重金属類)は使用していません。

**7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに**

**13 気候変動に
具体的な対策を**

再生材料の使用による CO₂ 削減のほか、製造工場では、再生可能エネルギーを使用しています。

コーヒーカップはエコマーク認定商品です

表示する SDGs のアイコンは、自社の取組内容に応じて表 1 を参考に選択して下さい。

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(2)

●●社は、持続可能性に配慮した製品づくりを行い SDGs の達成に貢献します。

ステージ	自社での取組内容(例)	SDGs の目標との関係
資材調達	- グリーン調達基準を設定し、サプライチェーン全体での環境に配慮した資材の調達に取組みます。 - 製品への再生プラスチックの活用率を〇%に高めます。 - 包装材に再生紙や森林認証紙の使用を進めます。	  
製造	- 精錬漂白工程での規制物質の使用を削減するとともに、排水管理を行います。 - 製造工場での省エネ対策に取り組んでいます。	 
物流	新たに導入する車両は、次世代自動車(電気自動車または燃料電池車)を 100%導入を目指します。	 
使用	- 揮発性有機化合物(VOC)の放散を〇%削減します。 - 使用時の省エネ性能を高め、CO₂削減に貢献します。	  
回収・リサイクル	2025 年までに製品の回収システムを構築し、資源循環を進めます。	 

◇ウェブサイト環境報告書などでの表示例(3)

エネルギー使用量削減の取組

●●は、持続可能な社会の形成に向けて、2030年までに自社工場での CO₂ 排出量を 50%削減(2008 年比)することを目標に、徹底した省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用に取り組めます。

貢献できる SDGs
の目標



【応用編】

3) その他の目標との関連も整理します。

地域や社会に貢献している部分と SDGs の各目標との関係を整理し、公表します。また、関係する目標について、取組や公表(結果等)をさらに進めます。

⇒ 外務省「JAPAN SDGs Action Platform」【取組事例】

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/org1.html>

表 1 エコマークの各商品分野(認定基準)とSDGsの主な目標との関係

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
101	かばん・スーツケース Version1					
102	印刷インキ Version2					
103	衣服 Version3					
104	家庭用繊維製品 Version3					
105	工業用繊維製品 Version3					
106	情報用紙 Version3					
107	印刷用紙 Version3					
108	衛生用紙 Version2					
109	タイル・ブロック Version2					
110	生分解性潤滑油 Version2					
111	木材などを使用したボード Version2					
112	文具・事務用品 Version2					
113	包装用紙 Version3					
114	紙製の包装用材 Version2					
115	間伐材、再・未利用木材 などを使用した製品 Version2					
118	プラスチック製品 Version2					

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
119	パーソナルコンピュータ Version3					
120	紙製の印刷物 Version2					
121	リターナブル容器・包装資 材 Version2					
123	建築製品(内装工事関係 用資材)Version2					
124	ガラス製品 Version2					
125	生ごみ処理機 Version I					
126	塗料 Version2					
127	消火器 Version2					
128	日用品 Version I					
129	廃食用油再生せっけん Version I					
130	家具 Version2					
131	土木製品 Version I					
132	トナーカートリッジ Version2					

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
133	デジタル印刷機 Version I					
134	時計 Version I					
135	太陽電池を使用した製品 Version I					
136	リユース製品 Version I					
137	建築製品(外装・外構工 事関係用資材)Version I					
138	建築製品(材料系の資 材)Version I					
139	建築製品(設 備)Version I					
140	詰め替え容器・省資源型 の容器 Version I					
141	生分解性プラスチック製 品 Version I					
142	インクカートリッジ Version2					
143	靴・履物 Version I					
144	革製衣料品・手袋・ベルト Version I					
145	プロジェクタ Version2					

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標				
146	まほうびん Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
147	損害保険 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
148	楽器 Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
149	BD/DVD レコーダー・プレーヤーVersion I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
150	電球形 LED ランプ(A形)Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
151	浄化槽 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
152	テレビ Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
153	乳幼児用品 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任		
154	太陽熱利用システム Version I	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
155	複写機・プリンタなどの画像機器 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
156	便器などの衛生器具 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	
157 158	給水栓 Version I 節水器具 Version I	6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を		
159	サーバ類 Version I	3 すべての人に健康と福祉を	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を

類型番号	商品類型名	関連するSDGsの17の目標					
160	廃食用油を使用したバイオディーゼル燃料 Version I						
161 162	シュレッダーVersion I ラミネーターVersion I						
163	ノンフロン加煙試験器 Version I						
501	小売店舗 Vesion2						
502	カーシェアリング Version I						
503	ホテル・旅館 Version2						
504	プラスチック製容器包装のリサイクルによるアンモニア製造プロセス Version I						
505	飲食店 Version I						
506	機密文書処理サービス Version I						
507	電力プラン Version I						

SDGsの17目標・169のターゲットは、以下より確認が可能です。

採択文書全文(日本語訳) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

【参考】エコマーク制度とSDGsについて



国際規格に基づいて運営される、エコマーク制度は、環境配慮型商品（製品・サービス）を認定する環境ラベルとして、SDGs 達成に貢献します。

17 の目標のうち、エコマーク制度と関連性が最も深いものは、

目標 12 の「つくる責任 つかう責任（持続可能な生産消費形態を確保する）」です。



エコマークは、持続可能な消費と生産のために、ライフサイクルを通じて環境負荷の少ない環境配慮型商品の開発・生産の促進に寄与します。

また、国・地方公共団体、民間企業や消費者に対して、環境配慮型商品の目印になります。

エコマーク制度は ISO 14024 (タイプ I 環境ラベル) に基づく、第三者認証の環境ラベルとして、世界でも中心的な役割を果たしています。

エコマーク商品の購入（グリーン購入）を進めることで、SDGs の達成に貢献できます。



目標 13 「気候変動に具体的な対策を」

エコマークでは、ライフサイクルを通じて CO₂ の排出抑制に寄与する商品（エネルギー効率の高い商品など）を認定し、普及に取り組んでいます。

気候変動対策は、エコマークの評価項目の 4 つの重要な柱のひとつです（その他に、省資源と資源循環、有害物質の制限とコントロール、生物多様性の保全）。



目標 17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

エコマーク事務局は、日本の環境省や国連環境計画 (UNEP)、世界エコラベリング・ネットワーク (GEN) と協力して、世界各国に持続可能な公共調達（またはグリーン購入）が広がるよう、制度の構築をはじめとした、支援活動に積極的に取り組んでいます。

「エコマークの各商品分野（認定基準）と SDGs の主な目標との関係」は、表 1 に示しています。

公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5 階

URL: <https://www.ecomark.jp>

E-mail: info@ecomark.jp

TEL: 03-5829-6286